

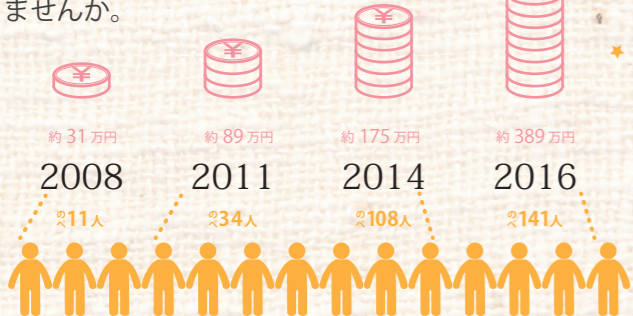
Nお知らせ
News

缶バッジ

キャブページ



平成20年(2008年)12月25日からスタートした「とよなか夢基金」。平成30年に10周年を迎えます。10年を記念した夢基金のオリジナル缶バッジをご希望のみなさんにプレゼントしています。9年で約2526万円の寄付をいただき、のべ695人の方に支えられて市民活動の輪が広がっています。缶バッジを身につけてあなたも「とよなか夢基金」サポーターになりませんか。



寄付者のメッセージ Voices of Supporter

個人では取り組みない活動を応援しています。
本町 女性

活動の様子をニュースレターで見るのを楽しみにしています。
高石市 男性

私たちは豊中を元気にする活動を応援しています。特に子どもの孤食や貧困問題に取り組む「子ども食堂」に関心があります。夢基金への寄付が活動につながっていて、うれしいです。

焼肉たか山本さんご夫妻(中桜塚)



サポーター Supporter

平成28年10月～平成29年9月に寄付をくださったみなさま

- | | |
|-------|-------|
| 青木康修 | 野田一広 |
| 石濱繁子 | 馬場煌子 |
| 鶴川まき | 久隆浩 |
| 川野達也 | 前田秋雄 |
| 河本圭司 | 前田君代 |
| 久保ゆり子 | 松本恵美 |
| 近藤隆彦 | 三上亜弥 |
| 清水高子 | 矢野徳一 |
| 遠山一喜 | 山川宗司 |
| 友国泰治 | 山口太一 |
| 中根勉 | 山田さえ子 |
| 西村拓夫 | 山田英和 |
| 西山芳樹 | 和田錦門 |

- 安積重和税理士事務所
一級建築士事務所 有限会社近藤工務店 近藤仁志
上野電気工業株式会社
エスワイティーシステム株式会社
大阪府マンション管理士会 豊中支部
御菓子司 京屋
株式会社 社中
株式会社伊勢屋 野口聡介
株式会社ホクセツ谷木商事
株式会社五十嵐建設 五十嵐晴好
株式会社センリ 田村朗
ぐるぐるアート豊中世話人会
公益社 豊中会館
語学院 プリリアント
しょうない REK
有限会社 新高滝観魚園
株式会社 新明和 南商店
税理士法人 岡本会計事務所
田中社会保険労務士事務所
豊中の市民活動を応援する会
特定非営利活動法人 ハニー・ビー
ブリヂストンタイヤ北大阪販売株式会社
ほくせつそうしょ
焼肉たか
御菓子司 富貴屋
有限会社 樂八 北森勝司
匿名34人・1団体 敬称略・五十音順

「とよなか夢基金」ニュース

地域でがんばる人たちへ届けます



とよなか夢基金は、ボランティア団体やNPO、自治会など市民が行う自発的な社会貢献活動を応援する基金です。



わたしとあなたの未来をつくる。

千里中央子ども食堂をはじめようの会

特集 | 助成事業の紹介
お知らせ | 缶バッジキャンペーン

「千里中央子ども食堂をはじめようの会」は

転勤族の多い千里地区で、子育て世代から高齢者世代まで、食を通じた地域の居場所づくりをしています。平成29年度「とよなか夢基金」助成の交付9事業のひとつとして、「食を通じての多世代交流、地域交流、場の提供」事業を行っています。





豊中のらねこ ニャンとかしよう作戦2017

平成28年度に殺処分された猫は全国でおよそ45,000匹。豊中市のような住宅都市では、野良猫の問題は大きな社会課題です。「野良猫を少しでも減らしたい。小さな命を救いたい……」。そんな思いから、とよなか猫のかぎしっぽではTNR活動を行っています。Tはトラップ（捕獲する）、Nはニューター（不妊手術）、Rはリターン（元の場所に戻す）。増えすぎた野良猫を捕獲し、不妊手術をしたうえで元の場所に戻す活動のことです。



捕獲した猫の新しい飼い主を探す保護猫譲渡会は多くの人で賑わいます

「野良猫のトラブルは本質的には人と人の関わり方が原因となることが多い。地域から孤立した独居高齢者などがその寂しさから無責任な餌やりを始めてしまう例があります。私たちは野良猫のTNR活動を通じて地域問題の解決に少しでもお役に立てれば、と考えています」と共同代表の渡邊亜希子さん。

野良猫が増えすぎると、猫の糞尿や鳴き声などで環境が悪化し、住民間のトラブルの原因にもなります。これらの解決のためには、地域の理解が必要です。とよなか猫のかぎしっぽでは、現地に直接出向き、住民との対話を通して、猫と地域をつなぐ架け橋になりたいと考えています。

「今の課題は、体制が追いついていないこと。相談を受けても人手が足りず、対応ができないこともあります」と共同代表の芳賀良子さん。取り組みを広げるためには活動に協力してくれるボランティアが不可欠。今後は、協力者を増やすための説明会や、ボランティア同士の交流の場づくりなども進めていく予定です。



捕獲してまだ10日程の保護猫。大きな目が特徴の可愛い子猫です



共同代表の渡邊さん(左)と芳賀さん

元ひきこもり等の生きづらさを抱えた当事者の安定した社会生活に寄与するためのつながり形成事業

ひきこもりを経験した人たち同士 共感できる場所をつくりたい

日本社会の大きな課題となっている「ひきこもり」。豊中では、約2,500人も若者(15歳～39歳)がひきこもり状態にあるとされています。様々な支援を通して社会復帰した元ひきこもり当事者の中には、生きづらさを抱えたまま、不安定な社会生活となりひきこもりを繰り返すことも。

NPO法人ウィークタイでは、当事者が平穏で安定的な社会生活を維持できる状況をめざして、当事者や経験者同士が緩やかにつながり、支えあえる居場所づくりを行っています。

庄内では、自宅でも職場でもない第三の居場所「だらだら集会」を毎月開催。10時から20時まで、いつでもふらりと立ち寄り、話しをしたり、思い思いの時間を過ごしています。支援機関が発行する冊子などを

注1) 平成28年(2016)市調査

設置し、情報提供も行います。また、隣の部屋では当事者どうしで経験を語りあう自助会やカウンセラーによるワークショップを行っています。

服部では、楽器演奏や歌を歌う会「だらだら音楽集会」を開催。目的なく集まるのが苦手の当事者に対する取り組みとして生まれた、今年度の新たな事業です。「音楽という



出入り自由だから参加しやすい新しいつながりが生まれることも



代表の泉さん(広報とよなか11月号「ひゅーまん通信」でも、自身が体験したひきこもりの経験を語っています)

共通の目的があることで、すぐに打ち解けて演奏の輪のなかに入っていくことができました」と大きな一歩につながった人もいます。

「ひきこもり経験者が緩やかにつながることで、頼りあえるネットワークをつくっていききたいです」と代表の泉翔さん。他団体と連携しながら活動の幅を徐々に広げています。



演奏初心者も楽しめる音楽を通じた和やかな交流「だらだら音楽集会」